

木部用あく洗い エコシリーズ



最新のカタログ・施工要領書の情報はホームページをご確認ください。

URL:www.miyaki.com

あく洗いエコシリーズとは、 従来のミヤキあく洗いシリーズの 普通物タイプです。

※ 用途・現場環境・ニーズにより使い分けください。

- ※ 作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
- ※ 排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。
- ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用しておりません。
- 製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

※ 各製品の施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。

白木のあく洗い アクトップエコAB



使用方法

- ① 施工面の土砂・ゴミ・ホコリ等の推積汚れを除去してください。砂がついたまま洗浄作業を行うと基材に傷が付く場合があります。またワックス等が塗布してある場合は、ワックス等を剥離してください。
- ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- ③ アクトップエコA液・B液を1:1に混ぜて、あく・汚れの度合いに応じて水道水で原液～5倍に希釈してください。
※ 使用分量だけをポリまたはプラスチック容器（金属は腐食します）に入れてお使いください。
※ A液・B液の混合液は時間とともに効力が低下しますので、ご使用毎に混ぜてお使いください。
- ④ 薬品用ハケに適量を含ませてから、施工面に均一に塗布してください。
※ 壁面への施工においては、上の方から塗ると垂れじみができますので、下の方から塗布してください。
※ 液だまりができた時は速やかに拭き取ってください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。
- ⑤ 塗ってから10～20分後（泡が汚れを浮かせます。）に濡れた布で汚れやあくをきれいに拭き取ってください。室内の汚れに対してはあまり泡立ちしません。拭き取り後、再度十分に水洗い又は水拭きしてください。
- ⑥ アクトップエコAB洗浄後、弊社商品白木のシミ抜き剤（エコタイプ）『シミトップエコ』、白木のカビ取り漂白剤『カビトップエコ』を使用するとよりきれいに仕上がります。
※ ハケムラ防止のため、天井等の薄い板に使用する時は、あらかじめ板を充分水で濡らしてからお使いください。

使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- ② ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。
本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。

梱包

- A液、B液：各4ℓ入×2セット／1ケース
- A液、B液：各18ℓ入×1セット

製品有効期限：未開封冷暗所保管で製造より1年
標準使用量（原液使用時）5～10㎡/ℓ
※ 使用量は基材によって多少異なります。

特長

- アクロンABの普通物タイプです。

用途

- 古家増改築後のあく汚れ落とし。
- 新築美装時の日焼け・手アカ・トノコ・汚れ落とし。

- ③ 建築用木製二次製品（貼り板・単貼板合板・合板・フローリング材・集合材等）に使用する際、場合によっては表面材や内部の接着剤等に影響を及ぼす恐れがありますので、事前のテスト施工により不具合がないことをご確認の上、ご使用ください。
- ④ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑤ 金属・アルミサッシ等に付着したときは、速やかに水洗いしてください。
- ⑥ 強い擦り・高圧の水洗いは毛羽立ちますのでご注意ください。
- ⑦ 木材の劣化が著しいところは、木材表面が毛羽立つことがあります。そのときは乾燥後、木材用紙ヤスリで毛羽立ちを直してください。
- ⑧ ワックスや塗料を塗布する場合は、アクトップエコABを使用後、十分に水洗い又は水拭きして充分に乾燥させてから塗布してください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- ⑨ タタミやジュウタン等にこぼれると変色しますのでご注意ください。
- ⑩ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
- ⑪ 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑫ 必ず適切な保護具（保護マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等）をお使いください。
- ⑬ 口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- ⑭ 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。
異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- ⑮ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外の車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑯ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。
開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑰ 作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
- ⑱ 取り扱いは手洗いを充分行ってください。
- ⑲ ガス抜きキャップ仕様のため、アクトップエコABを横倒しにすると液漏れしますのでご注意ください。
- ⑳ 用途以外には使わないでください。
- ㉑ 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。
一般の方はご使用をお控えください。

白木のシミ抜き シミトップエコ



使用方法

- ① 施工面についてノコやモルタル等の異物、及び土砂・ゴミ・ホコリ等の推積汚れを除去してください。砂がついたまま洗浄作業を行うと基材に傷が付く場合があります。またワックス等が塗布してある場合は、ワックス等を剥離してください。
 - ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
 - ③ シミ・汚れの程度に応じてシミトップエコを水道水で原液～5倍に希釈してからお使いください。
 - ④ 薬品用ハケに適量を含ませてから、施工面に均一に塗布してください。
 - ⑤ 使用分量だけポリバケツ等に入れてお使いください。金属容器は使用しないでください。
 - ⑥ 必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。
- ※ シミトップエコを塗って落ちないシミは、シミトップエコ洗浄後に十分に乾燥させてから、弊社商品白木のカビ取り漂白剤『カビトップエコ』を薬品用ハケで塗り重ねてください。
- ※ あく強い木材『松・たいひ・米杉等』のシミ抜きの場合、シミトップエコを薬品用ハケで塗ると木のあくが出て来て、後日黒ずむことがあります。その時はシミトップエコ洗浄後に十分に乾燥させてから『カビトップエコ』を薬品用ハケで塗り重ねてください。特にあくの強いヒバ材・クリ材・ムク材等の広葉樹系の材質には使用しないでください。
- ※ 木部についたクロスを貼るノリとシミトップエコが反応して木部が黄色く変色することがありますが、その時はシミトップエコ洗浄後に十分に乾燥させてから『カビトップエコ』を塗り重ねてください。
- ※ 古家あく洗いの際は、弊社商品白木のあく洗い(エコタイプ)『アクトップエコAB』であく・汚れを落とした後にシミトップエコを使用し、洗浄後に十分に乾燥させてから『カビトップエコ』で仕上げると、よりきれいに仕上がります。

使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- ② ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。

梱包

- 1.8ℓ 入×12本/1ケース
- 18ℓ 缶入

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 5~10ml/ℓ

※ 使用量は基材によって多少異なります。

特長

- レブライトの普通物タイプです。

用途

- 木部についたモルタル・プラスター・鉄サビ・雨シミ・手アカ等のシミ・汚れ落とし。
- 杉材の地黒部の赤味復元。

まぜるな危険!

塩素系の製品と一緒に使う(まぜる)と塩素ガスが出て危険です。

- ③ 建築用木製二次製品(貼板・単貼板合板・合板・フローリング材・集材等)に使用する際、場合によっては表面材や内部の接着剤等に影響を及ぼす恐れがありますので、事前のテスト施工により不具合がないことをご確認の上、ご使用ください。
- ④ エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- ⑤ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑥ カビトップエコ等の塩素系の漂白剤と混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。特にトイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがありますのでご注意ください。
- ⑦ 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑧ 必ず適切な保護具(防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等)をお使いください。
- ⑨ ジュラック壁・金属・ガラス・天然石・タイル・ホーロー・植木等を腐食するので必ず養生してください。また、これらの基材に付着した場合は速やかに水洗いしてください。タタミやジュウタンなどにこぼれると変色しますのでご注意ください。
- ⑩ 廊下等のかくし釘にシミトップエコが付着すると、錆びてシミの原因になりますのでご注意ください。
- ⑪ 米松・杉等の材質によっては、木材中のリグニンが強調されて赤味が増すことがあります。
- ⑫ ワックスや塗料を塗布する場合は、シミトップエコ使用後、十分に水洗い又は水拭きをして十分に乾燥させてから塗布してください。塗装をするときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- ⑬ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
- ⑭ 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- ⑮ 手や皮膚・衣類についたときは、速やかに十分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- ⑯ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑰ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑱ 作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
- ⑲ 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑳ 用途以外には使わないでください。
- ㉑ 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

白木のカビ取り漂白 カビトップエコ



使用方法

- ① 施工面のゴミ・ホコリ等を予め除去してください。
 - ② 施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
 - ③ カビ・日焼けの程度に応じてカビトップエコを水道水で2~10倍に希釈してお使いください。
 - ④ 薬品用ハケに適量を含ませてから、施工面に均一に塗布してください。
- ※ 特に垂れシミに注意してください。ボタ塗りは控えて部分的な薬剤の溜まりや垂れは塗り延ばしてください。
- ※ 使用分量だけポリバケツ等に入れてお使いください。金属容器は使用しないでください。
- ※ 日焼けを取るときは、全体的にムラのないように5~10倍位に希釈したカビトップエコを塗って仕上げてください。日焼けが取れていないときは、この作業を繰り返してください。
- ※ 希釈倍率や放置時間によって本来の木の色より白く仕上がる場合があります。特に米松・杉等の赤味の強い木に使用する際は、赤味がなくなるように5~10倍位に水道水で希釈してお使いください。
- ⑤ 十分に水洗い又は水拭きしてください。
- ⑥ 乾燥後、白い粉(塩分)が残っている場合は、さらに水洗い又は水拭きをしてください。
- ※ カビトップエコの残留物(塩分)を放置されると気象条件によっては発火したりカビが生えやすくなる場合があります。
- ※ 頑固なカビには弊社商品強力カビ取り剤『カビスケ』をお使いください。
- ※ 古家あく洗いの際は、弊社商品あく洗い自慢(エコタイプ)『アクトップエコAB』および『シミトップエコ』であく・シミ・汚れ等を落とした後にカビトップエコで仕上げると、よりきれいに仕上がります。

使用上の注意

- ① 施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。
- ② ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。漂白効果がありますので、必ず目立たない部分でテストしてください。
- ③ 建築用木製二次製品(貼板・単貼板合板・合板・フローリング材・集材等)に使用する際、場合によっては表面材や内部の接着剤等に影響を及ぼす恐れがありますので、事前のテスト施工により不具合がないことをご確認の上、ご使用ください。

梱包

- 1.8ℓ 入×12本/1ケース
- 18ℓ 缶入

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 5~10ml/ℓ

※ 使用量は基材によって多少異なります。

特長

- 希釈倍率により漂白効果が変わります。
- あく洗い後の仕上げをきれいにします。

用途

- 木部のカビ・日焼け落とし。
- 白木の漂白。
- 古家(増改築)あく洗いの仕上げ。

まぜるな危険!

酸性タイプの製品と一緒に使う(まぜる)と塩素ガスが出て危険です。

- ④ エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
- ⑤ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑥ カビトップエコにシミトップエコや酸性タイプの製品を混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。特に、トイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがあります。ご注意ください。
- ⑦ 作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
- ⑧ 必ず適切な保護具(防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等)をお使いください。
- ⑨ 乾燥後、塩分が残りますので必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。カビトップエコが付着したまま、かんなやサンダーをかけたり、紙・木屑・衣類等に付着したまま乾燥すると発火の原因になりますので、必ず十分に水洗い又は水拭きをしてください。
- ⑩ ワックスや塗料を塗布する場合は、カビトップエコを使用後、十分に水洗い又は水拭きをして十分に乾燥させてから塗布してください。塗装するときは変色の恐れがありますので試し塗りの上お使いください。
- ⑪ タタミやジュウタンなどにこぼれると変色しますのでご注意ください。
- ⑫ 金属類・天然繊維類等は腐食しますので、必ず養生の上お使いください。また、これらの基材に付着した場合は速やかに水洗いしてください。
- ⑬ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
- ⑭ 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- ⑮ 手や皮膚・衣類についたときは速やかに十分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。
- ⑯ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑰ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くお使いください。
- ⑱ 作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
- ⑲ 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑳ 製品有効期限がすぎますと容器が経年劣化して、中身が漏れ出すことがありますので注意してください。また製品有効期限内でも高温多湿などの条件下に保管されますと容器の劣化が進み中身が漏れ出すことがありますのでご注意ください。
- ㉑ 用途以外には使わないでください。
- ㉒ 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

古家あく洗い・新築美装
あく洗い自慢 (エコタイプ)



セット内容

- 白木のあく洗い
アクトトップエコAB
A液:4ℓ入 B液:4ℓ入
- 白木のシミ抜き
シミトップエコ
1.8ℓ入
- 白木のカビ取り漂白
カビトップエコ
1.8ℓ入
- 付属品 ハケ3本(大1本、小2本)
カップ3個、ゴム手袋2双
ナイロンタワシ1個

用途

- 古家あく洗い。
- 新築美装。

特長

- 古家から新築まで、これワンセットでOK!
- 毒劇物を含まない普通物タイプです。

※ 各製品の施工要領書、使用上の注意及びSDSをよく読んでからお使いください。

使用方法

① 水拭き(室外は水洗い)

- ・水拭きで除去可能な汚れ(表面的な汚れ)を取り除いておきます。
- ・木材に水を含ませる事により、洗剤の塗りムラや垂れジミを緩和させる効果が得られます。

【注意】施工しない箇所や周辺基材を養生してください。

② アクトトップエコABの塗布(内部に浸透した汚れを浮き上がらせる)

- ・アクトトップエコA液・B液を1対1に混ぜます。これを原液として原液～5倍に水道水で希釈します。
- ※ 薬品の希釈率は表面の汚れの状態に合わせて調節します。
- ・薬品用ハケで木目に平行に均一に塗布してください。
- ※ 下から塗布してください。上から塗布すると垂れジミになります。
- ・部分的な薬剤の溜まりや垂れは塗り延ばしてください。
- ・反応が終わるまで10～20分放置します。
- ・外部は水洗いして泡と共に出てきた汚れを除去します。

※内部は泡がほとんど出ません。水拭きしてください。
【注意】強い擦り・高圧の水洗いは絶対にしないでください。
毛羽立ちます。

《参考》木材の劣化が著しく、毛羽立った場合は乾燥後、木材用紙ヤスリを木目に沿って一方方向に当ててください。

《参考》濡れた状態ではわかりにくいですが、アクトトップエコABだけでも6～7割の汚れは落ちています。(乾くとよくわかります。)

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年

標準使用量(原液使用時) 各商品 5～10㎡/ℓ

※ 使用量は基材によって多少異なります。

③ シミトップエコの塗布(モルタル・プラスター・鉄サビ・雨ジミ・手アカ等のシミ・汚れ落とし)

- ・水道水で原液～5倍に希釈してください。
- ・薬品用ハケで木目に平行に均一に塗布してください。
- ・反応が早く、効果が現れるまでの放置時間はほとんど必要ありません。
- ・必ず充分に水洗い又は水拭きをしてください。

【注意】アクトトップエコABで白くなくても、シミトップエコを塗り重ねることで白さを緩和できます。

【注意】直射日光の当たる部分は水拭きしてください。赤変します。
【注意】カビトップエコ等塩素系の漂白剤と混ぜたり、よく乾かないうちに塗り重ねると塩素ガスが出て危険です。特に、トイレ・風呂場等の風通しの悪い場所で使用すると、塩素ガス中毒になる恐れがありますのでご注意ください。

④ カビトップエコ(カビ・日焼けの除去および白さの強調)

- ・水道水で2～10倍に希釈してください。
- ・薬品用ハケで木目に平行に均一に塗布してください。
- ※ 特に垂れジミに注意してください。ボタ塗りは控えて部分的な薬剤の溜まりや垂れは塗り延ばしてください。
- ・反応は比較的ゆっくりで乾燥過程で徐々に漂白されていきます。通常3時間～完全乾燥後に最終的な色合いとなります。
- 《参考》仕上がり色:『白色』2倍⇒10倍『木の色』
- 《参考》部分的な色ムラは希釈率の違うものを塗布する事で均一に仕上げられます。

⑤ 仕上げ水洗い又は水拭き

- ・残留成分の除去のため、充分に水洗い又は水拭きをしてください。
- ※ 保護剤を施工する場合はよく乾燥させた後、テストの上施工してください。